

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	6	課題区分	C
横断的な課題	「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり				
地域重点政策	「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり				
実施機関	佐久地域振興局				佐久地域振興局
事業名	温かい暮らしへ”お木変え”プロジェクト	担当課	所属	林務課	
			電話	0267-63-3153	
			E-mail	sakuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	木のよさを「知る・触れる・使う」ことで、木のある暮らしのきっかけを作り、ウッドチェンジの促進を図る。			
	現状と課題	○木を「伐って、使って、植えて、育てる」ことが、持続可能なサイクルになるという認識を広げるとともに、森林整備の知識を養い、環境活動への関心を高める必要がある。 ○佐久地域は森林が多く、山や森が身近にある反面、「木に触れる・木を使う」機会は少なく、暮らしの中に木を使う生活があまり定着していない。体験を通して、木の温かみや心地よさを五感で感じてもらう、木の良さを再認識してもらう必要がある。			
	内容 (変更後の内容)	○情報発信コンテンツ作成、PR(木を”知る”)【3月5日に動画完成、3月18日から公開】 県内でも主伐再造林が盛んな佐久地域から、持続可能な山づくりとウッドチェンジによる循環型社会をテーマとした動画を作成し、ウッドチェンジが環境配慮への取り組みの一環であることを県民に情報発信する。また、より多くの方にPRするため、ホームページやYouTubeへの動画公開及び周知を行う。  ○森林環境教育の実施(木を”知る”)【11月後半のうち1日(平日)】 管内在住者を対象にウッドチェンジが担う環境への役割や、森林・林業の現状・課題について知ってもらうための体験・学習会を開催する。(林業現場体験会及びシカ被害地における観察会) 【対象者】:これから林業に就職しようと考えている方・林業に興味のある方を対象に、従来から実施している高校生に加え、一般の方(年齢制限なし)  ※R6以降実施予定※ ●モルック体験会の開催(木に”触れる”・木を”使う”) 木の温かみや心地よさを五感で感じてもらうため、佐久のカラマツ材を利用したモルック体験会を開催する。またゲーム性を持たせ、木を楽しみ、景品を持ち帰ってもらうことで、木のある暮らしの足掛かりをつくる。			
	事業期間	R5.8	～	R6.3	(単位:円)
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	木を”知る”	PR動画の作成	550,000		
	木を”知る”	森林環境教育の実施	81,141		
	合計			631,141	
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	動画閲覧数(林務部YouTube閲覧1か月平均:約100回)		250回	474回	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成
	森林環境教育 体験・学習会 参加人数(令和4年度:15人)		20人	22人	
事業実績・成果	【PR動画】 動画作成委託に当たっては公募型プロポーザル方式にて公告し、(株)アイクを選定した。 動画作成業者ならではの環境問題関連の動画の取り込み、親しみやすいキャラクター(声優)の案内、佐久森林組合の作業や森林づくりに対する思い等、精力的に取材頂き、PR効果の高い動画が作成された。 動画は3月の公開以降400回以上再生され、目標値250回を達成することができた。 また国産木材の魅力発信拠点MOCTION(東京都西新宿)壁面スクリーンに4月～6月投影予定。				
	【森林環境教育】 高校生以上の県民へ、森林・林業が自然環境や私たちの生活に与える影響について、木材市場や木材の伐採、搬出現場等を見学し、佐久地域の「林業」や「森林の多面的な活用方法」を知っていただくと共に、将来の就業の選択肢として認識してもらえた。				
今後の方向性	森林環境教育について広くPRを図り、参加者を増員すると共に、テーマを絞ることも検討していく。				